

こころとカラダを大切に
女性が自分らしく輝くまち



●女性のウェルビーイング推進宣言

桑名市は、令和7年2月3日すべての女性が“自分らしく輝ける”まちづくりを行うことを宣言しました。女性は生涯を通じて月ごと、ライフステージごとにこころとカラダの変化を生じており、それに伴い女性特有の悩みを抱える人も少なくありません。しかしながら、女性特有の悩みに対する社会の理解はまだまだ十分でない状況です。

そこで桑名市では、女性のこころとカラダの悩みに寄り添う施策、そして女性特有の悩みに対する社会の理解を促進する施策を推進する場“こころ・カラダ ラボ”立ち上げに向けた準備を進めています。

●こころ・カラダ ラボ 準備会

その第一歩として、3月5日、起業家や市内事業者、

問 SDGs推進課(☎ 24-7441 FAX 24-2474)

女性の
ウェルビーイング推進宣言

大学生などに集まっていただき、“どうしたら社会全体で女性の悩みに寄り添えるまちになるのか”考える場を設けました。

なかなか話題にしにくい“女性特有の悩み”。まずは、話し合える環境を作ること、そして、すべての女性が“自分らしく輝ける”まちになるために何をすべきなのか、ALL KUWANA で考えていきます。



こころ・カラダ ラボ準備会の様子

子ども・子育て応援センター「キラキラ」移転のお知らせ

3/21(金)からアピタ桑名店2階に移転し、オープンしました。



キラキラ

長島地域子育て支援センターのお知らせ

長島地域子育て支援センターは3/31(月)で閉室し、認定こども園令のかげ地域子育て支援センター「そよかぜ」がその役割を引継ぎます。

市内の子育て支援センター

| 事業所名 | 所在地 |
|-------------------------------|--------------------|
| 子ども・子育て応援センター「キラキラ」 | 中央町3-21 アピタ桑名店2階 |
| 子ども・子育て応援センター「ぼかぼか」 | 陽だまりの丘4-2201-2 |
| 地域子育て支援センター「にこにこ」 | 新西方1-22 |
| 子育て憩いの広場 | 鍛冶町9(ふれあいてんげんプラザ内) |
| 松岡こどもクリニック併設子育て支援センターのんのん | 西別所302 |
| 光陽桑名第二保育園併設光陽保育園子育て支援センター | 桑部字中府2701-1 |
| 耕逸山たどこども園 子育て支援センター「ののちゃんルーム」 | 多度町多度1293-1 |
| 認定こども園令のかげ地域子育て支援センター「そよかぜ」 | 長島町東殿名1023 |

問 子ども未来課(☎ 24-1172 FAX 24-1393)

地域の特性を強みに

未来につなぐ
老舗企業

市内に本社を構え、地域と密接に関わりながら発展してきた老舗企業を紹介します。

第1回 桑名三重信用金庫



大奥町にある本店外観

創業100周年を迎える「くわしん」

信用金庫は、地域の人が利用者・会員となつて互いに地域の繁栄を図る相互扶助を目的とした協同組織の金融機関で、主な取引先は中小企業や個人です。銀行との違いは、銀行は株式会社であり、株主の利益が優先されるほか、大企業を含む全国の企業などの取引が可能です。

桑名三重信用金庫は、三重・愛知・岐阜と3県にまたがった広範なエリアを営業基盤として、地元住民や中小企業との強固な信頼関係を築いてきました。金融サービスの提供にとどまらず、福祉・文化・スポーツ・環境など多岐にわたる分野で、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んできたことで地域の信頼を得ています。



現在「石取会館」として残る当時の京町支店

長い歴史の中で
直面した課題

第二次世界大戦はもとより、オイルショックやバブル崩壊、リーマンショック、コロナショックなど、経済環境の大きな変化、特に低金利環境の長期化や地域経済の停滞は、収益構造の見直しや経営の効率化を求められました。これらの困難を乗り越えるため、地域密着型の金融サービスを提供し続け、経営資源の有効活用や収益力の強化を図り、地域で信頼される金融機関をめざしてきました。

さまざまな
地域貢献活動

地域社会の福祉・文化の向上に寄与することを目的に、創業80周年を機に「公益財団法人くわしん福祉文化協力基金」を設立し、社会福祉に関する事業、社会生活環境の整備・美化に関する事業、文化・スポーツ事業に対し助成を行ってきました。本市では「桑名市文化協会設立30周年記念事業」や「六華苑竣工110周年記念事業」「六華苑deあそぼう」の活動に助成いただきました。

フェリシアスマイルの
活動とは

女性にもっと活躍してほしいの思いから、10年ほど前に、各金庫の女性職員たちにより「フェリシアスマイル」が立ち上がりました。活動例として、職員の家庭で不要になった食糧を集め、社会福祉協議会を通して子ども食堂に送ることでフードロスの削減に取り組みました。



桑名市社会福祉協議会での寄付贈呈式の様子

創業100周年(令和7年7月1日)を迎える桑名三重信用金庫は、これまで長きにわたり地域の発展に大きく貢献してきました。これからも更なる発展とご活躍を心よりお祈りします。今後、地域への感謝の気持ちを込めて、「くわしんフェスティバル」などのさまざまなイベント開催を計画されています。ご家族、ご友人などと共にご参加ください。